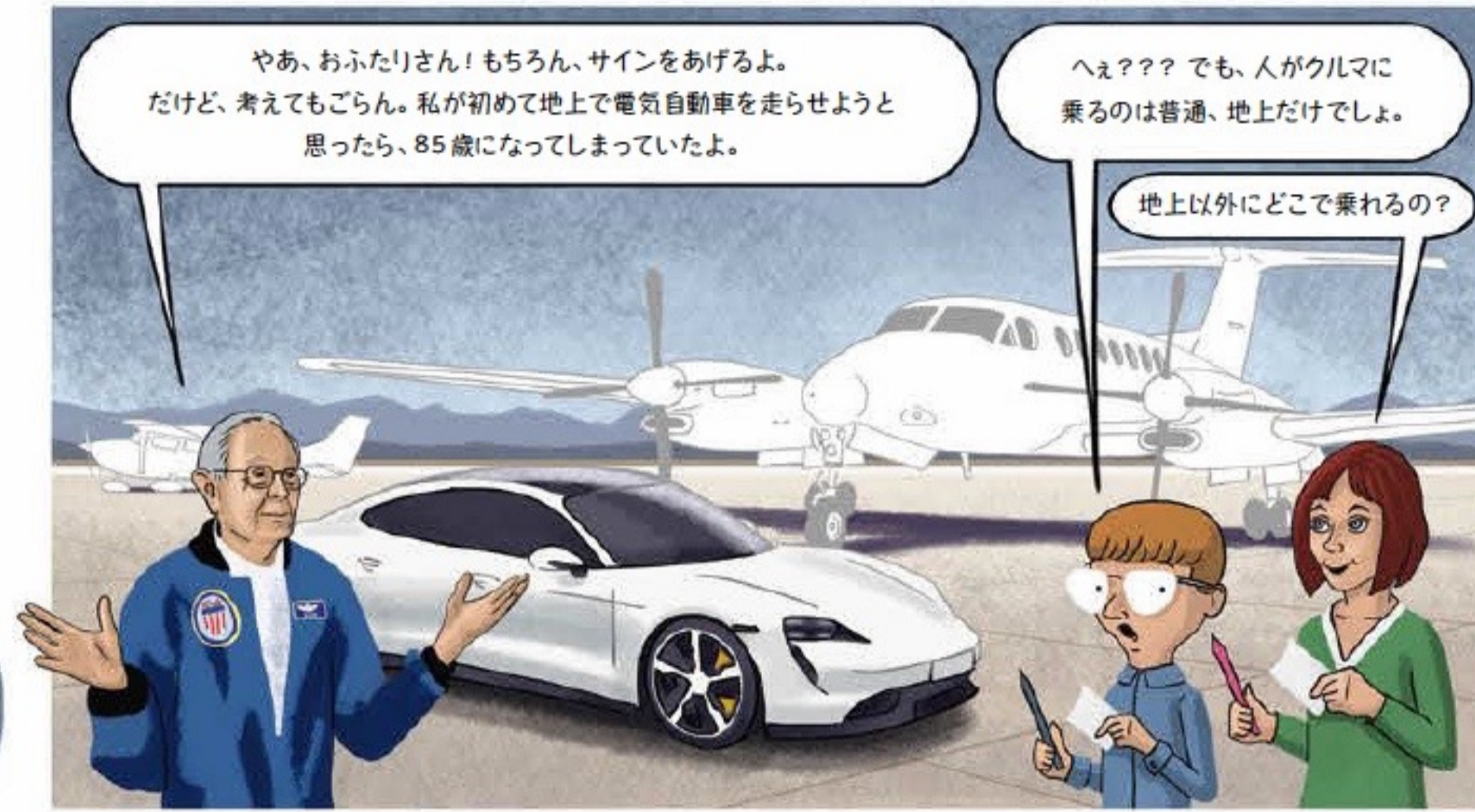


Porsche Teens

ジャックとジンジャー、
本物の宇宙飛行士に会う
画:トビアス・パールケ



やあ、おふたりさん! もちろん、サインをあげるよ。
だけど、考えてもごらん。私が初めて地上で電気自動車を走らせようと
思ったら、85歳になってしまっていたよ。

へえ???? でも、人がクルマに
乗るのは普通、地上だけでしょ。

地上以外にどこで乗れるの?



そうだな、君たちが驚くのも
無理はない。私は今から
約50年前に月面を電気自動車で
走ったんだよ。

チャーリー・デュークは1972年に
月面を歩いた史上10人目の
宇宙飛行士だ。彼は、電動の
"ムーンバギー"を月へと運んだ
アポロ16号の搭乗員だった。



当時は
そりゃあ、大騒ぎ
だったさ。



月に到着するまで
4日以上かかったんだよ。



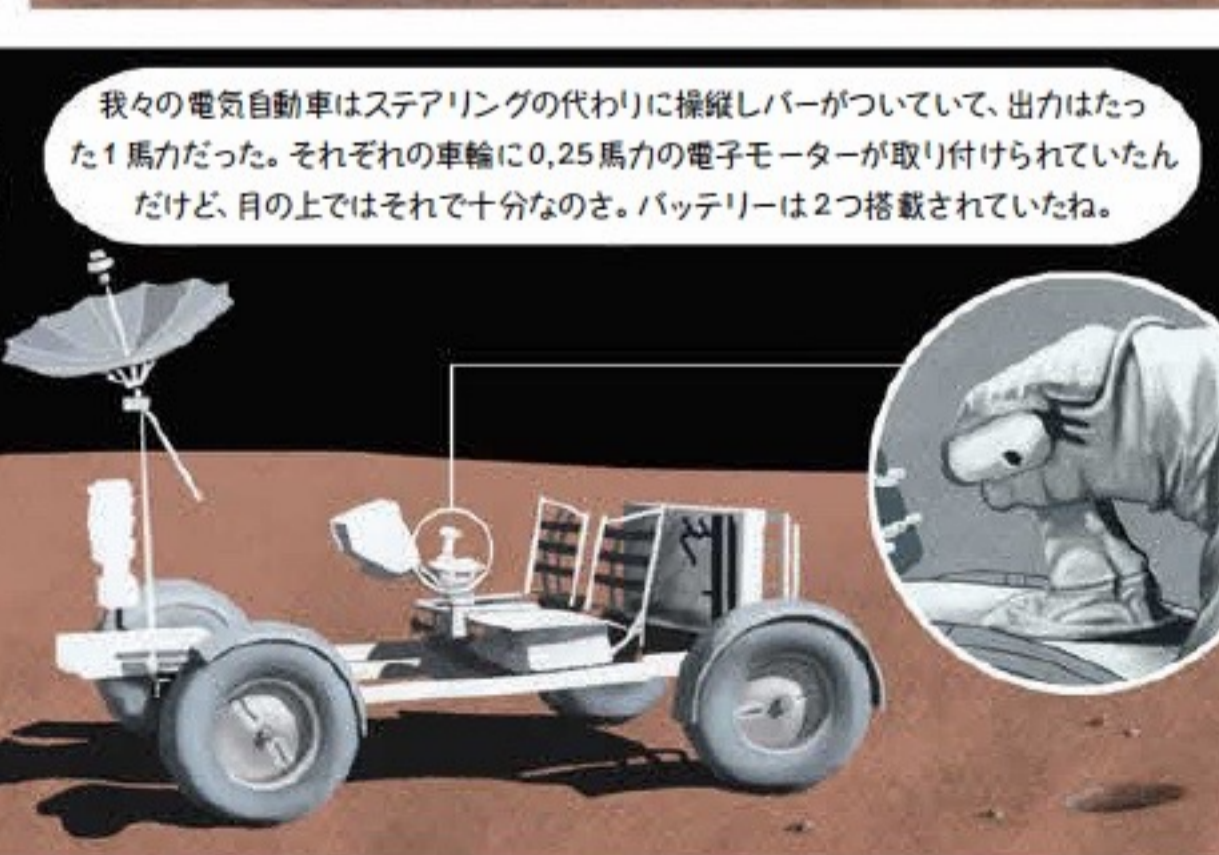
それから、私たちは月面でクルマを組み
立てなければならなかったんだ。



でも、そのクルマはとっても重かったでしょ!

いやいや、月は地球よりもずっと小さい。
だから、重力も少ないんだ。我々の月面車は、月の上では40kg
あるかないかくらいの重さだったよ。

そうか! だから宇宙飛行士は月面で
なんだか軽々と飛びはねているんだね。



我々の電気自動車はステアリングの代わりに操縦レバーがついていて、出力はたっ
た1馬力だった。それぞれの車輪に0.25馬力の電子モーターが取り付けられていたん
だけど、月の上ではそれで十分なのさ。バッテリーは2つ搭載されていたね。



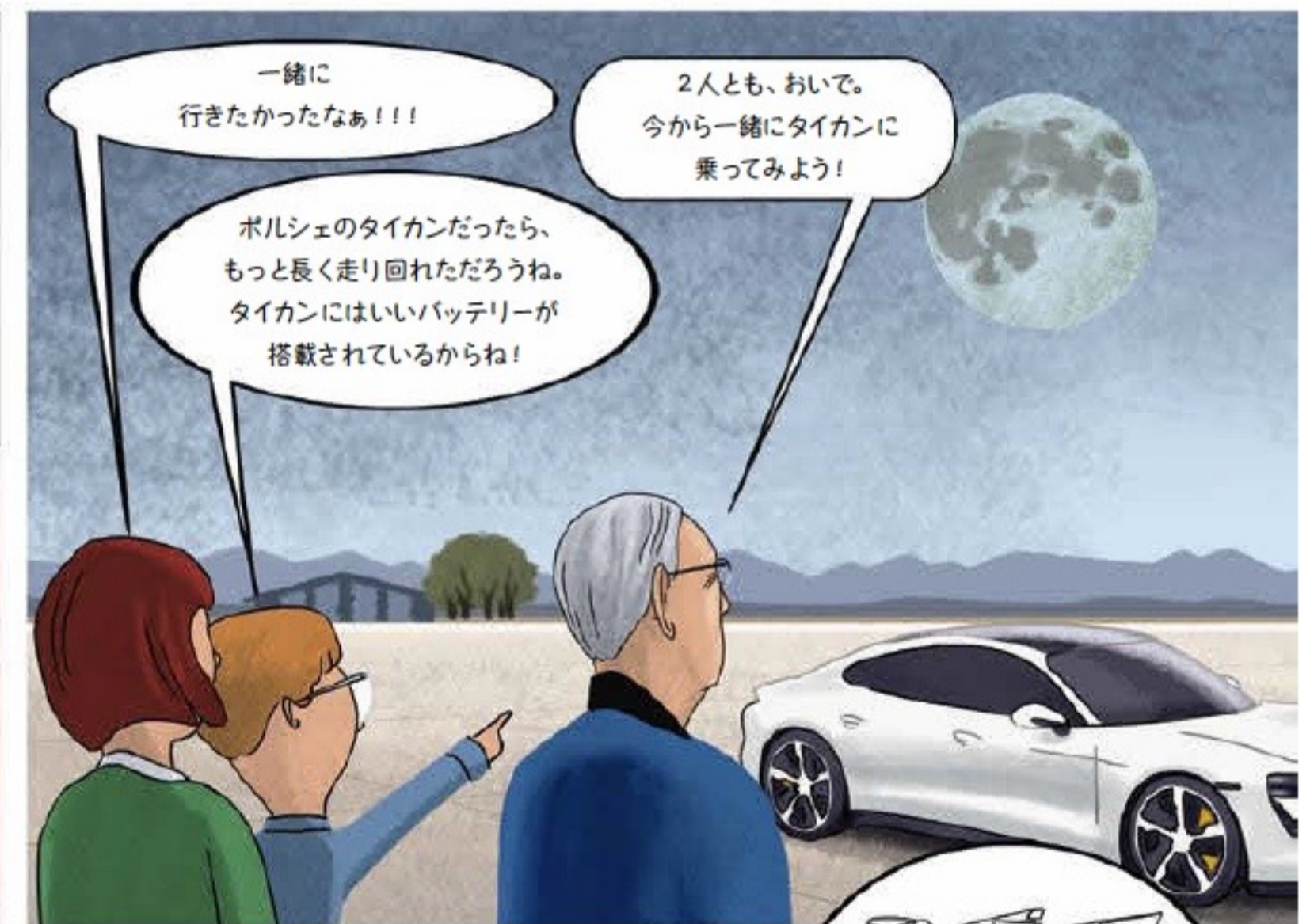
その月面車は25度までの傾斜しか登れなかった。
ストーン山に車に乗った時には、後ろにひっくり返ると思ったよ。



下りにもっとスリリングだったな! 月面車はすごく頑丈だけど、
とにかくあちこち跳ね回るんだ。スポーツカーのような安定性
はまったくなかった。でも、私たちは最終的に26kmも走ったんだよ。



それでも、バッテリーにはまだ十分エネルギーが
残っていて、車についていたカメラで離陸シーンの
映像を探ることができた。



一緒に
行きたかったなあ!!!

2人とも、おいで。
今から一緒にタイカンに
乗ってみよう!

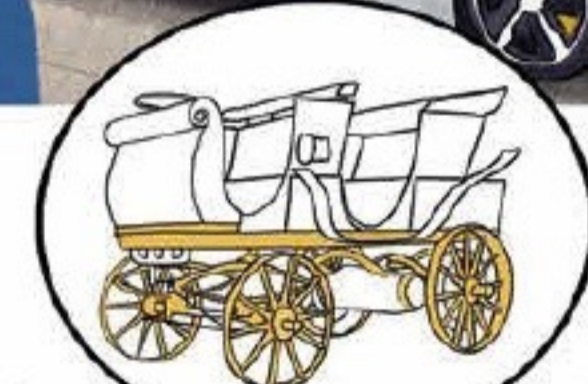
ボルシェのタイカンだったら、
もっと長く走り回れたらうね。
タイカンにはいいバッテリーが
搭載されているからね!



タイカンの技術は我々の当時の月面車とは
全然次元が違うな!!!

わあ!
宇宙船の中みたいだ!

私たちは今、未来に
向かって走っているのよ。



1898年、つまり最初の月面車が
作られてから、さらに
70年以上も前、フェルディナンド・
ボルシェはエグガーローナー
C.2フェードンをデザインした。
ボルシェは電気自動車の
パイオニア
だったのだ。

ボルシェタイカン
電力消費量 複合: 25.4~20.4 kWh/100km
CO₂排出量 複合: 0g/km

TOBIAS PAULKE

完